# 仁明会精神衛生研究所

業績記録

(2002年~2010年)

# 2002年

#### 1. 論文

- 1) Koho Miyoshi: New trends in the treatment of dementia.pp. 5-6, Neuropsychiatry & Cognitive Neuroscience. Special Edition. 2002
- 2) Yanagihara C, Yasuda M, Maeda K, Miyoshi K, Nishimura Y: Rapidly progressive dementia syndrome associated with a novel four extra repeat mutation in the prion protein gene. Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry. 72, 788-791, 2002
- 3) Matsubara-Tsutui M, Yasuda M, Yamagata H, Nomura T, Taguchi K, Kohara K, Miyoshi K, Miki T: Molecular evidence of presenilin 1 mutation in familial early onset dementia. Am J Med Genet 114 (3) , 292-298, 2002
- 4) 三好功峰: 脳器質性障害と精神鑑定、精神科治療学17巻(5号)、573頁-575頁、2002年
- 5) 三好功峰: 高齢者のおもな精神症状、老年精神医学雑誌、13巻(6号) 671 頁 677 頁、2002 年
- 6) 三好功峰: 老年期の物忘れと痴呆。後期高齢者の医療とケア。別冊総合ケア。59 頁 65 頁、 医歯薬出版、2002 年
- 7) 三好功峰: 痴呆における行動異常の生物学的・精神病理学的理解。老年精神医学雑誌、13 巻 (2 号)、163 頁 168 頁、2002 年
- 8) 三好功峰: 痴呆性疾患の治療方針。 神戸医師会雑誌 52巻、23頁 29頁、2002年
- 9) 江原 嵩、長岡研太郎、森村安史、佐藤一彦、前田常成: Fluvoxamine 治療と視覚遮断により 「脅迫的噛み付き」が著明に抑制されたピック病の1 症例。臨床精神医学 31 巻、63 - 68、2002 年
- 10) 鮫島 健、河崎建人、松原三郎、稲庭千弥子、大塚俊男、覚前 淳、久保田 巌、田口真源、中村英雄、蓮江郁夫、渕野勝弘、三根浩一郎、森村安史:老人性痴呆疾患専門病棟に関するアンケート調査結果報告、日本精神科病院協会雑誌、21、67 72、2002 年
- 11) 森村安史:老人性痴呆疾患治療病棟における治療の現状に関する実態調査。厚生科学研究研究 費補助金、長寿科学総合研究事業。老人性痴呆疾患治療病棟におけるクリニカルパスを利用した 痴呆性高齢者治療の検討に関する研究。平成 13 年度、総括・分担研究報告書 2002 年

## 2. 学会発表

- 第4回国際神経精神医学会(ブエノスアイレス、2002年9月4-7日)
  Miyoshi K: Recent Trends of the Treatment of Dementia. The 4th International Congress of Neuropsychiatry. Buenos Aires, Septemer 4-7, 2002
- 2) 森村安史:シンポジウム。痴呆疾患専門病棟のあり方について。日本精神科病院協会雑誌 21、 51、主任研究者 鮫島 健、2002 年

# 2003年

#### 1. 論文

- 1) 三好功峰: 巻頭言。 痴呆治療のガイドライン。 脳の科学 25 巻、201 頁 204 頁、2003 年
- 2) 三好功峰: 高齢者に特有な病態と症候群。老年精神医学雑誌 14 巻、1402 頁 1408 頁、 2003 年
- 3) 三好功峰: 痴呆の評価と診断への合理的なアプローチ (診断手続きの最適化)。痴呆症学 (1)。 高齢社会と脳科学の進歩。日本臨床 61 巻、増刊号 9、163 頁 - 167 頁、2003 年
- 4) 三好功峰: 痴呆性疾患の治療方針。西宮医師会雑誌8巻、76頁-79頁、2003年
- 5) 長岡研太郎、江原 嵩、前田 潔: Dopamine 補充療法が有用であった Lewy 小体型痴呆の 3 症例。臨床精神医学 32 巻、209 頁 215 頁、2003 年
- 6) 森村安史:精神障害者の就労支援事業 (Hire-Ability)、日本精神科病院協会雑誌 22 巻、44 46、2003 年
- 7) 大塚恒子: ある重大事件を起こした人格障害者へのかかわりから。精神看護 6 巻 26 32、 2003 年
- 8) 三好功峰: 平成 14 年厚生労働省こころの健康科学研究事業「こころの健康科学事業に係る企画および評価に関する研究」(主任研究者、高橋清久)。分担研究。研究班報告書
- 9) 森村安史:担当医制の老人性痴呆疾患治療病棟におけるクリニカルパス導入に関する研究。厚生労働科学研究補助金、長寿科学総合研究事業、老人性痴呆疾患治療病棟におけるクリニカルパスを利用した痴呆性高齢者痴呆の検討に関する研究。平成 13 年 14 年総合研究報告書、主任研究者 鮫島 健、2003 年

## 2. 著書

- 10) 三好功峰: 痴呆の全般的な治療原則と選択肢。21 頁 26 頁。中村重信編、痴呆疾患の治療ガイドライン。ワールドプランニング社 2003 年
- 11) 三好功峰;ウエルニッケ脳症ほか10項目、医学大辞典、医学書院 2003年
- 12) 三好功峰; Pick 病·前頭葉型痴呆。363 364 頁、長寿科学事典、監修祖父江逸郎、医学書院 2003 年
- 13) 三好功峰、うつ病、黒川清、松澤佑次編集、内科学第2版、140-143頁、文光堂2003年
- 14) 江原 嵩:中枢神経系臨床検査から見た糖尿病と脳血管障害、監修春木繁一、中本雅彦、糖尿病性腎不全、患者のケア・ポイント。154頁-160頁、メディカ出版、大阪、2003年
- 15) 江原 嵩: 持効性抗精神病薬による逆説性反応を呈した統合失調症に対するオランザピンの有用性。 上島国利編集、オランザピン 100 の報告。ひとりひとりの治療のゴール。170 頁 172 頁、星和書店、東京、2003 年

## 3. 学会報告

1) Miyoshi K: Symposium. Neuropsychiatric Aspects of Mental Disorders in Old Age, The 11th Congress of the International Psychogeriatric Association. 17-22 August

2003, Chicago, Illiniois, USA. (International Psychogeriatrics. 15, suppl. 2,67-68,2003

- 2) Miyoshi K, Morimura Y, Ueki A, Morita Y: Current Status of the Elderly with Dementia in Japan The 11th Congress of the International Psychogeriatric Association.17-22 August 2003, Chicago, Illinois, USA. (International Psychogeriatrics 15, suppl. 2, 146, 2003)
- 3) 三好功峰: 老年期神経疾患の精神症状。第 31 回臨床神経病理懇話会特別講演。会長、高内茂、 守田嘉男、兵庫医科大学、西宮、2003 年 11 月 23 日

# 2004年

#### 論文:

- 1) 森村安史: 痴呆性高齢者への精神病院のかかわり。老年精神医学雑誌。15,908 909.2004
- 2) 三好功峰:器質性精神障害。脳障害による精神症状。最新臨床精神医学 2004
- 3) 三好功峰: 老年期精神障害の見方と治療姿勢。精神科 4, 375 378、2004
- 4) 三好功峰:神経病理学からみた精神医学の進むべき方向。臨床精神医学34,315-322.2005
- 5) 大塚恒子:精神病院において機能分化に取り組んだ成果と課題。第35回日本看護学会論文集、 看護管理2004
- 6) 三好功峰:アルツハイマー病の臨床診断。仁明会精神医学研究 2.1-8.2005
- 7) 三好功峰: アルツハイマー病の行動障害。行動障害とは。仁明会精神医学研究 2, 9-18, 2005
- 8) 江原 嵩:アルツハイマー病の行動障害。攻撃的傾向。仁明会精神医学研究 2, 19 24, 2005
- 9) 加藤力敬、江原 嵩、早柏琢哉、辻 光弘:アルツハイマー病の行動障害。徘徊と不穏。仁明 会精神医学研究 2, 25 28, 2005
- 10) 森村安史:アルツハイマー病の行動障害。夜間の行動障害。睡眠障害を中心として。仁明会精神医学研究 2, 29 32, 2005
- 11) 三好功峰: アルツハイマー病の行動障害。幻覚·妄想と行動障害。仁明会精神医学研究 2, 44 50, 2005
- 12) 江原 嵩:アルツハイマー病の行動障害。医学的管理。仁明会精神医学研究 2,51 63,2005
- 13) 甲斐麻理、大塚恒子、矢野優子: アルツハイマー病の行動障害。介護に攻撃的行為を示すアルツハイマー型痴呆患者への対応。仁明会精神医学研究 2,64-69,2005
- 14) 中村謙司、大塚恒子: アルツハイマー病の行動障害。デイケアにおける行動障害を示した患者への援助。仁明会精神医学研究 2. 70 74, 2005
- 15) 江原 嵩、板野隆士、大塚恒子:地域ニーズに合わせた精神病院をめざして。財団法人 仁明会の場合。仁明会精神医学研究 2.75 -78,2005
- 16) 三好功峰: 孤発性 Alzheimer 病、概念と診断基準。痴呆症学 (2)。高齢社会と脳科学の進歩。臨床編 各論。Ⅱ. 神経変性疾患による痴呆 (変性性痴呆)。Alzheimer 病。日本臨床 62 巻、増刊号 1、41 45 頁、2004 年
- 17) 三好功峰: 座談会、アルツハイマー病患者の診断と治療およびケア。Cognitition and Dementia.96 頁 105 頁。メディカルビュー社 2004 年

- 18) 三好功峰:精神医学と神経学の緊密な共同作業は今後も必要である。精神医学 56 巻、119 頁 120 頁、2004 年
- 19) 三好功峰:平成 15 年厚生労働省こころの健康科学研究事業「こころの健康科学事業に係る企画および評価に関する研究」(主任研究者、高橋清久)。分担研究。研究班報告書
- 20) 三好 功峰、森村 安史: 高齢化社会における老年期のうつ病。仁明会精神医学研究 1、3 8、2004
- 21) 江原 嵩: 老年期うつ病。臨床症状。仁明会精神医学研究 1、9 23、2004
- 22) 三好 功峰: 老年期に特有な身体因性うつ病。仁明会精神医学研究1、31 39、2004
- 23) 堀江由香里、加藤 力敬、好井 陽子、早柏 琢哉、大橋 直哉、江原 嵩:右視床出血後 情動障害性人格変化の1症例。仁明会精神医学研究1、45 50、2004
- 24) 金澤 啓子、江原 嵩:Questiapine が奏効した「抑うつ-口腔内異常感覚-Parkinsonism」 症候群を伴った進行性痴呆の1症例。仁明会精神医学研究1、51-57、2004
- 25) 加藤 力敬: 行動的行動が前景化した初期分裂病の1症例、仁明会精神医学研究1、58 61、2004

#### 著書

- 1) 三好功峰;京都大学精神医学教室 100 周年を迎えて。2 3 頁、精神医学京都学派の 100 年。 京都大学精神医学教室。ナカニシヤ出版 2004
- 2) 三好功峰: 京都大学精神医学教室における神経病理学。31 33 頁、精神医学京都学派の100年。 京都大学精神医学教室。ナカニシヤ出版2004
- 3) 三好功峰: 高齢者のおもな精神症状。39 50 頁。老年精神医学講座;総論。日本老年精神医学会編。ワールドプランニング 2004
- 4) 三好功峰: 高齢者に特有な病態と症候群。215 227 頁、老年精神医学講座; 各論、ワールド プランニング 2004
- 5) 三好功峰:アルツハイマー病。石郷岡純編。精神疾患 100 の仮説・改訂版、星和書店 2004。
- 6) 三好功峰: 老人性痴呆疾患の分類と診断 193 206 頁。「老人性痴呆疾患の治療ガイドライン」 日本精神科病院協会。ワールドプランニング社。2004
- 7) 三好功峰: 老人性痴呆、泉孝英編・ガイドライン外来診療、日経メディカル、2005
- 8) 三好功峰、植木昭紀:アルツハイマー病の自然経過。病期と症候。中野今治、水沢英洋編、よくわかるアルツハイマー病。33 40 頁、永井書店 2004
- 9) 三好功峰: 痴呆とは何か、平井俊策編、よくわかって役に立つ痴呆症のすべて。改訂版、1 7頁、 永井書店 2005
- 10) 三好功峰; 高齢者精神障害(痴呆等)研究の現状と将来計画に関する研究。こころの健康科学研究-現状と課題、監修・精神神経科学振興財団、編集 高橋清久、68 79 頁、精神・神経科学振興財団 2004
- 11) 三好功峰、植木昭紀: 痴呆の経過。中野今治、水澤英洋編「よくわかるアルツハイマー病」、 10頁-17頁、永井書店 2004年

#### 報告書

- 1) 分担研究者、森村安史; 老年性痴呆疾患の診断・治療・介護マニュアルに関する研究事業 報告書、平成 15 年度、社団法人 日本精神科病院協会
- 2) 分担研究者、三好功峰:高齢者精神障害(痴呆等)研究の現状と将来計画に関する研究30-33頁、厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業、こころの健康科学研究事業に係る企画及び評価に関する研究。平成15年度、総括・分担報告書。主任研究者、高橋清久 平成16年(2004)3月

## 学会発表:

- 1) Koho Miyoshi; Neuropsychiatric Aspects of Mental Disorders in Old Age. The 5th International Congress of Neuropsychiatry and the 1st Mediterranean Meeting of Biological Psychiatry. Athens, Oct. 13-18, 2004. (第 5 回国際神経精神医学会 (アテネ) 特別講演)
- 2) 大塚恒子、江原 嵩、板野隆士、甲斐麻理:機能分化の伴う看護管理の課題、日本精神科病院協会精神医学会。神戸市、2004 年 7 月
- 3) 大塚恒子、甲斐麻理:精神障害者退院促進支援事業の取り組み。退院と転院した患者の特性を 比較して。日本精神病院協会精神医学会。神戸市、2004年7月
- 4) 南 敦司、大塚恒子:地域連携を生かした家族危機への介入。日本プライマリーケア学会。第 18 回近畿地方大会。西宮市、2004 年 9 月
- 5) 大塚恒子、甲斐麻理:精神科病院において機能分化に取り組んだ成果と課題。日本看護協会管理学会、徳島県、2004年10月
- 6) 池淵重紀、木村聡子、橋爪幸恵、大塚恒子: 患者の入院経過に伴う家族心理、日本精神科看護 技術協会、兵庫県支部看護研究発表会、神戸市、2004 年 11 月

# 2005年

## 論文

- 1) 三好功峰: アルツハイマー型痴呆 (認知症) か? アルツハイマー病か? 老年精神医学雑誌 16,524-525,2005
- 2) 三好功峰: 序論、脳と身体疾患による精神症状について。精神科 7,1-3,2005
- 3) 三好功峰: 再論・「熱発と緊張病」、致死性緊張病は、「薬物によらない悪性症候群」か? 精神神経学雑誌 107, 1141-1146, 2005
- 4) 加藤力敬、江原 嵩、早柏琢哉、中嶋一彦、金澤啓子: Lewy 小体型痴呆における dopamine 補充療法の有用性について. 神経内科 63, 265-270, 2005
- 5) 三好功峰: 認知障害 (序論) 仁明会精神医学研究 3, 2-8, 2006
- 6) 三好功峰: 記憶障害 仁明会精神医学研究 3, 9-15, 2006
- 7) 江原 嵩:思考・判断障害 仁明会精神医学研究 3, 16-27, 2006
- 8) 森村安史: 認知症の評価スケール 仁明会精神医学研究 3, 32-41, 2006

- 9) 加藤力敬、早柏琢哉:認知症の救急治療 仁明会精神医学研究 3,63-71,2006
- 10) 江原 嵩:認知症に対する医学的対応 仁明会精神医学研究 3, 72-82, 2006
- 11) 大塚恒子、甲斐麻里、矢野優子: 重度認知症患者の対応困難と感じる徘徊への看護 仁明会精神医学研究 3,83-87,2006
- 12) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「心の底にある希望を引き出す」、精神科看護 3 (6) ,58-63, 2005
- 13) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「スタッフ間で感情を言葉にしたことで退院計画が進む」、 精神科看護 3 (7), 71-75, 2005
- 14) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「強い陰性感情を見直すことから」精神科看護 3 (8), 67-71, 2005
- 15) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「新たな病棟編成で始まったかかわり」精神科看護 3 (9), 71-75, 2005
- 16) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「外泊訓練をくり返し一人暮らしを実現」、精神科看護 3(10), 66-69, 2005
- 17) 大塚恒子: あきらめない退院の支援「結果を求めすぎず、あきらめない」精神科看護 3 (11) , 66-70,2005

#### 著書

- 1) 三好功峰: 記憶と認知からみた認知症の症状。看護のための最新医学講座・改訂版、13 巻、 認知症(武田雅俊編)、22 - 28 頁、中山書店 2005
- 2) 三好功峰: 人格障害、幻覚·妄想、せん妄、夕暮れ現象、鏡現象、認知症ナビゲーター、メディカルビュー社 2005
- 3) 三好功峰: 痴呆とは何か、痴呆症のすべて、改訂第2版。平井俊策編1-8頁、永井書店2005
- 4) 大塚恒子:精神科ビギナーズテキスト、日本精神科看護技術協会監修、早期退院をめざして、 105-115 頁、精神看護出版、2006

#### 翻訳

1) 三好功峰 (責任訳者):日本精神神経学会監訳、アルツハイマー病とその関連疾患. コンペンディウム、米国精神医学会治療ガイドライン。65-127 頁、医学書院 2005

## 講演

- 1) 三好功峰: 認知症とは、西宮 RC 主催、講演会 2005. 5. 30
- 2)三好功峰:アルツハイマー型痴呆(認知症)とアルツハイマー病、第3回 Psychogeriatrics Hyogo Seminar、2005. 7. 29
- 3) 三好功峰: 働く女性のメンタルケア。学校法人グラムール美容学校. 2005. 5. 11
- 4) 三好功峰: 老年期の器質性精神障害について。老年精神医学会専門医研修会、大阪国際会議場、 大阪、2006. 1. 28

- 5) 江原 嵩: Lewy 小体型痴呆における dopamine 補充療法の有用性について。 兵庫医大神経内科サマーオープンカンファレンス。2005. 8, 25
- 6) 大塚恒子:「生活教室」導入の過程と成果。SST普及協会受賞記念シンポジウム「SSTへの期待と注文」、東京都、2005, 10.

## 学会発表

- 1) 辻 香織、柏原義典、甲斐麻理、矢野優子、大塚恒子:難治性病棟に「リラックスタイム」を 導入して。日本精神科看護技術協会兵庫県支部看護研究発表会、神戸市 2005, 10
- 2) 東 さやか、辻 香織、山口百香、丸尾好美、岩部政人、牛野沙綾香:精神科難治性病棟にお ける「あきらめない看護」の提供。全日本病院協会兵庫県支部看護研究発表会、神戸市 2005, 11
- 3) 大塚恒子;精神科医療と看護部マネイジメント、精神科看護管理研究会、神奈川県、2006.1
- 4) 大塚恒子: 非定型精神病薬導入に伴う看護対応の変化。仁明会病院院内発表、西宮市、2005, 10

# 2006年

#### 論文

- 1. 三好功峰:認知症の症状名と疾患名について(巻頭言). 最新精神医学 11.211,2006
- 2. 三好功峰: 認知症における操作的診断基準の有用性と限界. 精神医学 48,720-721,2006
- 3. 三好功峰: アルツハイマー病最初期の症状の生物学的基盤は何か? -- 「紙上ディベート. アルツハイマー病の認知症症状に対応するのは神経細胞脱落かシナプス障害か」に対するコメント --、

#### Cognition and Dementia.5, 247, 2006

- 4. 三好功峰: 老年期の幻覚と妄想. 仁明会精神医学研究 4, 2-8, 2007
- 5. 三好功峰:同居人妄想. 仁明会精神医学研究 4, 46-50, 2007
- 6. 江原 嵩:糖尿病性腎症患者の抑うつ. 透析ケア 12,902-908,2006
- 7. 江原 嵩、倉持裕子、近藤典子、浅野道子、青柳節子、藤原ひとみ:非定型抗精神病薬が可能にする新たな精神科医療の方向性-仁明会病院と大村病院の取り組み.日本精神科病院協会雑誌 24.2006
- 8. 江原 嵩: 幻視. 仁明会精神医学研究 4, 9-22, 2007
- 9. 江原 嵩: 幻覚と妄想に対する医学的管理. 仁明会精神医学研究 4,68-82,2007
- 10. 大塚恒子; 妄想と幻覚に対する看護. 仁明会精神医学研究 4,83-86,2007
- 11. 大塚恒子: 咀嚼による嚥下障害の改善と日常生活行動の変化,日本精神病院協会雑誌,25、27-31.2006
- 12. 江原 嵩、長岡研太郎:塩酸ドネペジル投与中のレビー小体型認知症にみられた強迫的徘徊は 薬剤性アカシジアが原因か. 仁明会精神医学研究 4, 87-91, 2007

#### 著書

- 1. 三好功峰: 人格変化 (176-177 頁), 幻覚・妄想 (178-179 頁), せん妄 (180-181 頁), 夕暮 れ症候群 (192-193 頁), 鏡現象 (194-195 頁): 老年期認知症ナビゲーター (編集・新井啓行、浦上克哉、武田雅俊、本間昭) メディカルレビュー社 2006
- 2. 三好功峰:統合失調症.日経メディカル「ガイドライン外来診療 2007」、2007
- 3. 大塚恒子: 災害から患者を守る技術-自然災害-, 精神科看護エクスペール 19, 146 156, 2006.
- 4. 大塚恒子. 他病棟スタッフ: グループ導入で患者さんが見えてきた (座談会), 精神科看護 7, 25-31,2006.

#### 講演

- 1. 三好功峰: 老年精神医学における操作的診断の問題点. 第 26 回日本精神科診断学会、ランチョンセミナー, 2006. 11. 27. 京都
- 2. 江原 嵩:統合失調症急性期の治療 クリニカルパスとリスパダール内用液.第3回 Mono Therapy 懇話会, 2006. 12. 16. 神戸.
- 3. 大塚恒子:激動する精神保健医療福祉のいま・必要とする看護マネジメント. 但馬精神科懇話 会. 2006.5.
- 4. 大塚恒子: リスパダール液剤使用で得たエンパワーメント 11 年を経て患者 看護師関係を育む . 第二回阪神地区看護の会. 2006.5.
- 5. 大塚恒子: リスク発生防止活動の進め方. 日本精神科看護技術協会医療安全管理者養成研修会, 2006, 6.
- 6. 大塚恒子:組織づくりと看護管理. 日本精神科看護技術協会看護部長研修会, 2006, 7.
- 7. 大塚恒子:看護管理コース1看護サービス論. 日本精神科看護技術協会認定研修会, 2006, 10.
- 8. 大塚恒子:精神科看護の展望 制度改革と看護の役割 . 日本精神科看護技術協会沖縄県支部 看護学会基調講演, 2006, 10.
- 9. 大塚恒子: 精神障害者の理解と看護. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部精神保健福祉研修会, 2006, 12.
- 10. 鶴海裕子: 急性期病棟におけるケアプロトコールの実際. ヤンセンファーマ. 2006, 12.
- 11. 大塚恒子:精神科病院の重度認知症看護における役割. 精神科看護管理研修会. 2007.2.
- 12. 大塚恒子:精神科におけるリスクマネージメントと情報管理の実際. 日本精神科看護技術協会 鳥取県支部研修会, 2007, 2.
- 13. 大塚恒子. 南 香織. 森川 晋. 前田幸史:地域生活促進に向けての看護者の役割. 病診連携症例検討会, 2007, 3.

#### 学会発表

1. Miyoshi K,Morimura Y,Ueki A,Morita Y: Aged Society and Geriatric Neuropsychiatry in Japan. The 6th International Congress of Neuropsychiatry.11 September 2006, Sydney. (Abstract; Neuropsychiatric Disease and Treatment.vol.2,suppl.S.25-26. Dove Medical

#### Press. 2006)

- 2. Miyoshi K: Aged Society challenges to Neuropsychiatry. Plenary Lecture in; The 1st European Congress of the International Neuropsychiatric Association. 10 December 2006, Athens.
- 3. 森村安史: 認知症が絵画表現に影響を及ぼしたか? アンリ・ド・トウルーズ・ロートレック の作品について. 第53回日本病跡学会, 2006, 6.23. (東京)
- 4. 齋藤澄子. 大塚恒子: 患者の「退院したい」という意思を支えた関わり. 第 37 回日本看護学会-精神科看護-, 2006, 7. (宮城)
- 5. 大塚恒子. 甲斐麻里. 矢野優子: 咀嚼による嚥下障害の改善. 第 37 回日本看護学会 老年看護 、2006. 9. (島根)
- 6. 大塚恒子. 甲斐麻里. 矢野優子:精神科急性期における早期退院の実現 急性期病棟と社会復帰訓練病棟の退院患者の特徴から . 第12回日本精神科看護学会 救急・急性期看護 , 2006, 9. (神戸)
- 7. 南香織. 鶴海裕子. 大塚恒子: 急性期病棟に「朝の集い」を導入した患者・看護者への効果. 第12回日本精神科看護学会-救急・急性期看護-, 2006, 9. (神戸)
- 8. 森川 晋. 矢野優子. スタッフ一同: 社会復帰訓練病棟におけるリハビリテーションプログラム「生活教室」の実践報告. 第 49 回日本病院・地域精神医学会総会, 2006, 10. (東京)
- 9. 大塚恒子. 甲斐麻里. 矢野優子: 重度認知症患者の対応困難と感じる徘徊への援助. 第13回日本精神科看護学会-老年期看護-, 2006, 11. (徳島)
- 10. 大塚恒子: 地域住民の心の健康相談事業開設. 34回日本精神病院協会精神医学会, 2006, 11. (三重)
- 11. 鶴海裕子. 南 香織:精神科急性期病棟の大集団療法導入前後による精神症状・セルフケアレベルに焦点化した入院期間の変化. 34回日本精神病院協会精神医学会, 2006, 11. (三重)
- 12. 千田美沙. 川田容子. 松尾結紀:身体合併症. 重度認知症病棟における褥瘡の実態調査, 日本精神科看護技術協会兵庫県支部. 2006. 10.

#### 市民講座 (心のコミュニティー)

- 1. 加藤力敬: 「うつ病について | うつ気分とうつ病の違い. 2006. 4.
- 2. 大塚恒子: 「うつ病について」うつ病の早めのチェック、うつ気分の時の過ごし方. 2006, 5.
- 3. 齋藤澄子:「うつ病について」うつ病の症状や対応方法. 2006, 6.
- 4. 倉持裕子: 「ストレスマネジメント」ストレス反応の理解. 2006, 7.
- 5. 南 敦司: 「ストレスマネジメント」ストレス反応の対応. 2006, 8.
- 6. 甲斐麻里:「認知症について」加齢に伴う記憶障害や心理老化. 2006, 9.
- 7. 長岡研太郎:「認知症について」認知症の理解と早期診断. 2006, 10.
- 8. 大塚恒子:「認知症について」認知症の治療と介護. 2006, 11.
- 9. 中村謙司:「認知症について」認知症の予防と社会資源の活用. 2006, 12.
- 10. 西村輝明:「ライフサイクルと発達」ライフステージの心理や社会側面の発達. 2007, 1.

- 11. 甲斐麻里:「ライフサイクルと発達」ライフステージにおける心の健康問題. 2007, 2.
- 12. 大塚恒子: 「ライフサイクルと発達」健全な発達に必要な支援. 2007, 3.

# 2007年

#### 論文

- 1. 三好功峰: 老年期の精神障害における器質性要因について. 老年精神医学雑誌 18巻、25 29、増刊号-1 (2007、6)
- 2. 三好功峰:統合失調症の診断と薬物療法. 仁明会精神医学研究5巻, 2-10, 2008
- 3. 森村安史:精神科薬物療法の歴史的変遷. 仁明会精神医学研究第5巻. 11-17. 2008
- 4. 江原 嵩、加藤力敬: 薬物療法がもたらしたもの. 従来型抗精神病薬から非定型抗精神病薬へ. 仁明会精神医学研究 5 巻, 18 - 28, 2008
- 5. 江原 嵩: 従来型抗精神病薬から非定型抗精神病薬への切り替え、仁明会精神医学研究第5巻, 39-56, 2008
- 6. 大塚恒子、甲斐麻里、矢野優子: 非定型抗精神病薬併用による精神科リハビリテーションの効果. 仁明会精神医学研究第5巻. 70 75. 2008
- 7. 大塚恒子: 咀嚼と脳、認知症患者に見る咀嚼訓練と日常生活行動の変化. 日本歯科評論通刊第 774号 146-154, 2007

#### 著書

- 1. 三好功峰; 老年精神医学講座 総論(改訂版) 老年期のおもな精神症状(意識障害、せん妄、 健忘、認知症、幻覚、妄想、不安、興奮、徘徊、拒絶、抑うつ、不眠、摂食障害) ワールドプラ ンニング社、2007 年
- 2. 三好功峰; 老年精神医学講座 各論 (改訂版) 老年期に特有な病態と症候群(ガス灯現象、ディオゲネス症候群、夕暮れ症候群、シャルル・ボネ症候群、音楽幻聴、幻の同居人、カプグラ症候群、オセロ症候群、皮膚寄生虫妄想、コタール症候群、物盗られ妄想、軽度認知障害、血管性うつ病と血管性認知障害、うつ病性仮性認知症、認知症の行動・心理症状) ワールドプランニング社、2007年
- 3. 三好功峰:統合失調症.日経メディカル「ガイドライン外来診療 2007」、2007
- 4. 三好功峰:ICU 症候群、アメンチア、異記憶、意識狭窄、意識障害、意識変容、一過性全健忘、ウエルニッケ脳症、エコノモ脳炎、LSD 中毒、外因性精神病、回想欠損、眼窩脳症候群、間脳・中脳症候群、器質性気分症候群、器質性人格症候群、器質性精神病、器質性妄想症候群、既聴感、逆向健忘、急性外因反応型、急性錯乱状態、後頭葉症候群、コクサッキー・エコーウイルス脳炎、コルサコフ症候群、昏睡、サイケデリック体験、医学書院 医学大辞典第2版 2007年
- 5. 松原三郎、久保田巌、覚前 淳、田口真源、森村安史、瀬川芳久、三根浩一郎:老人性認知症 疾患専門病棟の治療機能の向上と地域との連携に関する研究事業報告書、平成 17 年度、社団法

#### 人日本精神科病院協会

- 6. 大塚恒子: 看護チームにおけるリーダーシップ、組織づくりとリーダーシップ、業務改善に生かせる理論. 実践精神科看護テキスト 6, 70-85-92-100, 2007
- 7. 大塚恒子:地域住民の心の健康相談事業の開設. 兵庫県精神病院協会 会報 第 27 号. 30. 2007
- 8. 大塚恒子:キャリア開発を目指した継続教育、日本精神科病院協会雑誌、26.36-39,2007
- 9. 大塚恒子: 看護管理、リスクマネジメント、感染管理、解説精神科看護業務指針, 137-145, 2007
- 10. 大塚恒子:精神科看護業務、リスクマメジメント、感染管理. 精神科看護業務指針, 54-57, 2007
- 11. 甲斐麻里、矢野優子: 看護チームにおけるリーダーシップ、問題解決技法. 実践精神科看護テキスト 6,86-91,2007
- 12. 鶴海祐子:精神科急性期病棟での集団療法の効果. 精神科看護 1, 45 49, 2008

#### 学会講演・発表

- 1. Koho Miyoshi, Yasushi Morimura: Neuropsychiatry in the Aged Society. The 5th Argentinean Congress of Neuropsychiatry. Sept.5-7, 2007, Buenos Aires
- 2. Koho Miyoshi: The Roles of the Psychiatric Hospitals in the Treatment of the Elderly with Dementia. Kobe Seminar. Oct.20, 2007
- 3. 岩部政人. 大塚恒子. 矢野優子. 東 さやか: 退院調整システムの精神科難治性病棟への導入. 第 38 回日本看護学会 精神看護 , 2007. 7. 岩手
- 4. 大塚恒子. 矢野優子. 松尾結紀. 甲斐麻里: BPSD を呈する認知症患者の重症度・看護必要度の調査. 第 38 回日本看護学会 老年看護 , 2007. 9. 長崎
- 5. 大塚恒子. 甲斐麻里. 矢野優子: 地域住民の心の健康相談事業を評価する. 第 38 回日本看護 学会-地域看護-, 2007, 10. 山形
- 6. 東 さやか:精神科難治性病棟に退院支援システムを導入したことによる看護師の自己効力感. 日本精神科看護技術協会 兵庫県支部看護研究発表会, 2007. 11. 兵庫
- 7. 前田幸史. 勇海民子: 訪問看護の実態調査と今後の課題. 日本精神科看護技術協会 兵庫県支 部看護研究発表会, 2007. 11. 兵庫
- 8. 渡辺典子、前田美樹、笠井俊吾、森村安史:地域生活支援に向けて。委託相談事業所の立ち上 げ。第50回日本病院・地域精神医学会総会、2007.9.28. 京都

#### 講演

- 1. 江原 嵩:統合失調症患者の高齢化に伴う薬物療法のストラテジー. 兵庫県精神病院協会薬剤 部 19 年度第 1 回研修会、神戸、2007 年 7 月 5 日
- 2. 江原 嵩:認知症について (1)、アルツハイマー型認知症について、西宮医師会認知症勉強会 第1回、西宮、2007年7月12日
- 3. 江原 嵩:認知症の臨床. 精神症状と行動障害の発症機序と対応. 兵庫県私立病院協会西阪神

支部。平成19年度専門研修・老年看護. 西宮、2007年10月13日

- 5. 江原 嵩: 認知症について、サクセスフル・エイジング大学、宝塚、2007年12月8日
- 6. 江原 嵩:認知症の理解. 第3回阪神地区看護の会. 神戸. 2008年1月26日
- 7. 江原 嵩:統合失調症の理解. 兵庫県精神障害者家族会連合会、宝塚. 2008年1月27日
- 8. 江原 嵩:認知症について. 脳血管性認知症について. 西宮市認知症勉強会、第3回. 西宮. 2008年2月14日
- 9. 大塚恒子:精神科におけるリスクマネジメントと情報管理の実際. 日本精神科看護技術協会鳥取県支部 支部研修会, 2007. 2. 17. 鳥取
- 10. 大塚恒子: 認知症について 認知症の治療と介護 . 社会福祉協議会芦原支部講演会, 2007. 3. 9. 兵庫
- 11. 大塚恒子:管理者の備えるべき要件と手法. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部 管理者コース 研修, 2007. 6. 6. 兵庫
- 12. 大塚恒子: リスク発生防止活動のすすめ方過去の経験からの再発防止の対策. 日本精神科看護 技術協会 医療安全管理研修, 2007. 7. 5. 京都
- 13. 大塚恒子:組織づくりとリーダーシップ. 日本精神科看護技術協会 マネジメント研修 I, 2007. 7. 31. 京都
- 14. 大塚恒子: リスクマネジメント. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部 共通研修, 2007. 8. 8. 兵庫
- 15. 大塚恒子: 老年看護 認知症の理解とケア . 私立病院協会西阪神支部 看護部長会研修, 2007. 10. 13. 兵庫
- 16. 大塚恒子: トップマネジメント 病院や看護部の目標達成のために、組織を超えたマネジメント能力を学ぶ . 日本精神科技術協会 看護部長研修, 2007. 10. 14. 京都
- 17. 大塚恒子:組織づくりとリーダーシップ. 日本精神科看護技術協会 マネジメント研修 I, 2007. 10. 24. 東京
- 18. 大塚恒子: リーダーシップ論 精神科看護師に求められるリーダーシップ . 日本精神科看護 技術協会鳥取県支部 支部研修会, 2008. 2. 鳥取

# 市民講座(心のコミュニティー)

- 1. 森川 晋: 「うつ病について」~うつ病の早めのチェックとうつ気分の時の過ごし方~. 2007. 5.
- 2. 加藤力敬:「ストレスについて」~ストレス反応の理解と対応~. 2007. 6.
- 3. 大塚恒子:「認知症について」~認知症の理解と対応~. 2007. 7.
- 4. 岩部政人: 「うつ病について」 ~症状とその対応方法~. 2007. 8.
- 5. 甲斐麻里: 「ストレスについて」~ストレスの対処の仕方~. 2007. 9.
- 6. 中村謙司:「認知症について」~予防と社会資源の活用~. 2007. 10.
- 7. 大塚恒子: 「うつ病について」~うつ病の早期発見~. 2007. 11.

- 8. 大塚恒子: 「ストレスについて」~悪玉のストレスに負けないために!~. 2007. 12.
- 9. 長岡研太郎: 「認知症について」~いろいろな認知症~. 2008. 1.
- 10. 鶴海祐子: 「うつ病について」~うつの症状と対応のしかた~. 2008. 2.
- 11. 南 敦司: 「ストレスについて」 2008. 3.

# 2008年

#### 論文

- 1. 森村安史:精神科病院における認知症医療の目指すもの. 仁明会精神医学研究 6, 1-5, 2009
- 2. 三好功峰:軽度認知障害における神経精神症状は認知症への転換の予知徴候である. 老年精神 医学雑誌 20(3)320 - 323,2009
- 3. 三好功峰:精神科病院における認知症への対応の原則、仁明会精神医学研究 6. 6-8. 2009
- 4. 三好功峰:早期発症の認知症について. 仁明会精神医学研究 6. 60 67, 2009
- 5. 江原 嵩, 長岡研太郎: 高齢者の精神症状と行動障害に対する perospirone の治療効果 臨床精神医学 37 (11): 1481 1487, 2008
- 6. 江原 嵩,長岡研太郎:非定型抗精神病薬治療中の統合失調症と双極性感情障害にみられた強 迫症状、臨床精神医学 37(12):1587 - 1592, 2008
- 7. 江原 嵩,長岡研太郎、井上敏昭:認知症における行動・心理症状 (BPSD) への心理的対応 -アルツハイマー型認知症に対する非薬物療法-. 仁明会精神医学研究 6, 25 - 34, 2009
- 8. 山本博一, 井上敏昭, 細尾延平, 加藤力敬:精神科病院における認知症治療-仁明会病院において-. 仁明会精神医学研究 6, 35 43, 2009
- 9. 大塚恒子, 甲斐麻里, 矢野優子: 認知症治療における精神科看護のありかた. 仁明会精神医学研究 6,53-59,2009

#### 著書

- 1. 三好功峰: ICU 症候群ほか 27 項目, 医学大事典第 2 版, 医学書院 2008
- 2. 三好功峰: 老年期のおもな精神症状. 改訂・老年精神医学講座, 総論, ワールドプランニング 社 2008
- 3. 三好功峰: 老年期に特有な病態と症候群. 改訂・老年精神医学講座, 各論, ワールドプランニング社 2008
- 4. 三好功峰(単著): 大脳疾患の精神医学―神経精神医学から見えるもの―. 中山書店(2009年4月刊行)
- 5. 大塚恒子他:精神科ビギナーズテキスト 身体管理編(吸引,ネブライザー吸入,酸素吸入,経管栄養法,中心静脈カテーテル法,ストーマケア,グリセリン浣腸,導尿,褥瘡,スタンダードプリコーション,救命救急処置).精神科看護出版,118-145,2008
- 6. 大塚恒子:実践 精神科看護テキスト 16 老年期精神看護(老年期患者の QOL 向上に向けた

日常生活援助・身体ケア・身体合併症の看護、環境づくり高齢者病棟のリスクマネジメント)。 精神看護出版、148-160、176-188、2008

7. 大塚恒子:精神科看護キーワード集 (リスクマネジメント,キャリアラダー). 日本精神科看護技術協会,58-59,90-91,2008

# 講演

- 1. 三好功峰: 若年発症の認知症について、第23回日本老年精神医学会特別講演、6.28、2008、神戸
- 2. Koho Miyoshi: Neuropsychiatric Disorders in the Elderly Patients. Plenary Lecture, The 2nd European Congress of Neuropsychiatry. Athens, 10.19.2008
- 3. Koho Miyoshi: Neuropsychiatry in the Aged Society. Presidential Symposium. The 7th International Congress of Neuropsychiatry. Cancun, 12.3. 2008
- 4. 大塚恒子: 関係論および教育論を学ぶ, 看護部長研修, 日本精神科看護技術協会京研修センター, 2008. 7
- 5. 大塚恒子:成熟看護学援助論. 園田学園女子大学, 2008, 7
- 6. 大塚恒子: リーダーシップを学ぶ、日本精神科看護技術協会東京研修センター、2008、7
- 7. 大塚恒子:リーダーシップを学ぶ、日本精神科看護技術協会京都研修センター、2008、8
- 8. 大塚恒子:精神科病院に必要なリーダーシップ. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部研修会, 2008. 7
- 9. 大塚恒子:病院経営と人材育成. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部研修会, 2008, 9
- 10. 大塚恒子: 老年看護. 兵庫県民間病院協会看護部長会. 2008. 9
- 11. 大塚恒子: リスクマネジメント. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部研修会, 2008, 11
- 12. 大塚恒子: 認知症について. 尼崎市民講座, 2008, 11
- 13. 大塚恒子: 認知症について. 三田市民講座, 2008, 11
- 14. 江原 嵩:認知症の理解. 第3回 阪神地区看護の会, 2008, 1
- 15. 江原 嵩:統合失調症の理解, 兵庫県精神障害者家族会連合会(兵家連), 2008. 1
- 16. 江原 嵩:認知症について (3), 脳血管性認知症について, 2008, 2
- 17. 江原 嵩:精神科薬物療法をめぐる今日的論点,薬物療法の実際.基礎精神科看護研修会「精神薬理学1」. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部,2008,6
- 18. 江原 嵩:精神科治療と向精神薬開発の歴史,精神科薬物療法看護研修会 I. 日本精神科看護 技術協会,2008,9
- 19. 江原 嵩:向精神薬の薬理. 精神科薬物療法看護研修会 I. 日本精神科看護技術協会, 2008, 9
- 20. 江原 嵩: 急性期における薬物療法. 行動制限最小化看護研修会Ⅱ. 日本精神科看護技術協会, 2008, 10
- 21. 江原 嵩:老年期精神障害,第15回専門学会Ⅱ. 日本精神科看護学会,2008,11

#### 市民講座(心のコミュニティー)

- 1. 宮城由香:「認知症について 認知症のためのリハビリテーション」2008. 4
- 2. 池淵重樹:「不眠について | 2008. 5
- 3. 森川 晋: 「ストレスについて | 2008. 6
- 4. 山本博一: 「統合失調症について」 2008. 7
- 5. 南 敦司: 「認知症について」 2008, 8
- 6. 矢野優子: 「うつ病について | 2008. 9
- 7. 大塚恒子: 「認知症について」 2008, 10
- 8. 中村謙司:「認知症について」2008. 11
- 9. 南 香織: 「うつ病について | 2009. 1
- 10. 加藤力敬:「神経症について」2009. 2
- 11. 山田亜希子: 「認知症について」 2009, 3

# 2009年

## 学会開催

The Kobe Conference of the International Neuropsychiatric Association. September 12-13, 2009, Kobe (President: Koho Miyoshi, Secretary General: Yasushi Morimura)

#### 編著:

 Koho Miyoshi, Yasushi Morimura, Kiyoshi Maeda: Neuropsychiatric Disorders (eds. Koho Miyoshi, Yasushi Morimura, Kiyoshi Maeda)
 Springer 2010

#### 論文:

- 1. 三好功峰、森村安史: 認知症における問題行動と身体的合併症. 仁明会精神医学研究、第7巻、 1-5、2010
- 2. 江原 嵩、長岡研太郎、近藤典子: 認知症における睡眠導入薬の使用上の注意. 仁明会精神医学研究、第7巻、19-31、2010
- 3. 鍛冶良一、山本博一:認知症と感染症. 仁明会精神医学研究、第7巻、32-38、2010
- 4. 加藤力敬:認知症における転倒にための頭部外傷と骨折. 仁明会精神医学研究、第7巻、39-43、2010
- 5. 長岡研太郎: 認知症における低栄養と電解質異常への対応. 仁明会精神医学研究、第7巻、44-48、2010
- 6. 長谷川誠実:認知症における歯科・口腔外科治療の経験. 仁明会精神医学研究、第7巻、49-54、2010
- 7. 大塚恒子、甲斐 麻里、矢野 優子: 認知症患者の身体的合併症予防とケア. 仁明会精神医学

研究、第7巻、55-58、2010

- 8. 江原 嵩、伊吹康良、富田常次:「強迫笑い」を呈した血管性前頭側頭葉損傷の1症例. 仁明 会精神医学研究、第7巻、59-63、2010
- 9. 江原 嵩、長岡研太郎、近藤典子:レビー小体型認知症の行動と心理症状に対するドパミン・アゴニストの有用性について. 臨床精神医学 38(2):219-226, 2009

#### 著書:

- 1. 三好功峰:大脳疾患の精神医学、神経精神医学からみえるもの. 中山書店 2009
- Miyoshi K, Morimura Y: Clinical Manifestations of the Neuropsychiatric Disorders. In: Neuropsychiatric Disorders (eds. K Miyoshi, Y Morimura, K Maeda) . PP.3-15, Springer 2010
- Miyoshi K: The Brief History and Current Status of the International Neuropsychiatric Association. In: Neuropsychiatric Disorders (eds. K Miyoshi, Y Morimura, K Maeda). PP.301-315, Springer 2010

#### 学会発表:

- 1. Koho Miyoshi, Yasushi Morimura: Clinical Manifestations of the Neuropsychiatric Disorders. The Kobe Conference of the International Neuropsychiatric Association (Kobe), September 12-13,2009
- 2. Koho Miyoshi: Neuropsychiatry from the International Perspectives. China Neuropsychiatric Summit (Dalian). November 21-22, 2009
- 3. Kentaro Nagaoka, Takashi Ebara, Noriko Kondo : Clinical efficacy of dopamine supplementing therapy for BPS of dementia with Lewy bodies. The Kobe Conference of The International Neuropsychiatric Association.  $2001.9.12 \sim 13$ , Kobe
- 4. 南 香織,中村 望,矢野優子:精神科病床機能分化に関連した看護師のストレス. 日本精神 科看護技術協会、日本精神科看護学会第34回大分大会、大分県、2009,5
- 5. 森川晋, 大塚恒子: 有効な急性期治療病棟を運用するためのベッドコントロール. 日本精神科病院協会、第37回日本精神科病院協会精神医学会、香川県、2009,11
- 6. ゾバブリッシュ・クリステン・アン・アユミ,大塚恒子:後期認知症に対する嚥下訓練の効果. 日本精神科病院協会、第 37 回日本精神科病院協会精神医学会、香川県、2009,11
- 7. 辻香織,山口百香,矢野優子,甲斐麻里,大塚恒子:難治性病棟の退院促進についての課題. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部看護研究発表会、神戸市、2009,11
- 8. 南 敦司: 原因疾患別認知症の効果的な看護. 全日本病院協会兵庫県支部、第6回研究発表会、神戸市、2009,11

#### 講演:

1. 三好功峰: 高齢者の精神症状、老年精神医学会専門医生涯教育講座(大阪)、2010.01.24

- 2. 山本博一:うつ病(気分障害)について、済生会兵庫県病院 2009.8.27
- 3. 山本博一:精神障害の理解・統合失調症を中心に. 西宮市ボランティア講座・西宮保健所 2009.10.26
- 4. 山本博一:うつ病(気分障害)について、大阪合成有機化学研究所 2010.1.6
- 山本博一:精神科病診連携について、尼崎市精神科医会総会 アルカイックホテル 2010.2.18
- 6. 山本博一:精神障害の理解・統合失調症を中心に. 西宮市訪問看護研修会・西宮保健所 2010.2.22
- 7. 山本博一:精神障害の理解・統合失調症を中心に. 西宮市ホームヘルパー研修会・西宮保健所 2010 2 23
- 8. 江原 嵩:精神科における薬物療法. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部 平成21年5月28日 兵庫県中央労働センター 神戸市
- 9. 江原 嵩:精神障害者の老年期、および、老年期に好発する神経症・感情障害の概念. 日本精神科看護技術協会 老年期精神障害看護 I、平成 21 年 6 月 30 日 京都研修センター 京都市
- 10. 江原 嵩:認知症概論. 日本精神科看護技術協会、老年期精神障害看護 I. 平成 21 年 6 月 30 日 京都研修センター 京都市
- 11. 江原 嵩:治療抵抗性(難知性)統合失調症. 仁明会病院研修会、平成 21 年 7 月 30 日 仁明会病院 西宮市
- 12. 江原 嵩:認知症の理解と看護. 日本精神科看護技術協会兵庫県支部、平成21年8月4日 兵庫県中央労働センター 神戸市
- 13. 江原 嵩、長岡研太郎、近藤典子: DLBのドパミン補充療法. 第三回レビー小体型認知症研究会、平成21年10月7日 新横浜プリンスホテル 横浜市
- 14. 江原 嵩;老年期精神障害看護. 日本精神科看護学会、第 16 回専門学会Ⅱ、平成 20 年 11 日 27 日 崇城大学市民ホール、熊本市
- 15. 大塚恒子: 実習前オリエンテーション. 明和看護専門学校、2009.5
- 16. 大塚恒子:変化する医療介護に求められる医療従事者の役割. 三田高原病院、2009,5
- 17. 大塚恒子:変わり行く精神医療に求められる看護者の役割. 看護部研修会、岡山県精神医療センター、2009,6
- 18. 大塚恒子:精神科に求められる認知症看護. 日本精神科看護技術協会支部講演会、岐阜、2009,6
- 19. 大塚恒子:身体合併症看護. 老年期精神障害看護 I、日本精神科看護技術協会、京都、 2009,7
- 20. 大塚恒子: 関係論及び教育論を学ぶ. 日本精神科看護技術協会、京都、2009,7
- 21. 大塚恒子: リーダーシップを学ぶ. 日本精神科看護技術協会、京都、2009.9
- 22. 大塚恒子: リーダーに必要な基本的スキル. 日本精神科看護技術協会支部リーダー研修会、 神戸、2009.9
- 23. 大塚恒子: 認知症をはじめとする対応困難な高齢者看護. 専門研修・老人看護研修会、兵庫県民間病院協会西阪神支部、西宮、2009.9
- 24. 大塚恒子:変革する精神医療に求められる看護管理. 日本精神科看護技術協会支部管理者研

修会、大津、2009.9

- 25. 大塚恒子、南 敦司:老年期精神障害看護事例検討会. 老年期精神障害看護Ⅱ、日本精神科 看護技術協会、京都、2009.10
- 26. 大塚恒子:精神科における身体合併症ケアの困難さと特徴. 日本精神科看護技術協会支部研修会、徳島、2009.10
- 27. 大塚恒子: リスクマネジメント. 日本精神科看護技術協会支部中堅研修会、神戸、2009,11
- 28. 大塚恒子:精神医療に求められる看護管理. 日本精神科看護技術協会支部研修会、福島、 2009.10
- 29. 大塚恒子:精神科病院における身体合併症の看護. 日本精神科看護技術協会支部研修会、香川、2010.2
- 30. 大塚恒子:精神科における身体合併症の困難さと特徴. 日本精神科看護技術協会支部研修会、 鳥取、2010,2
- 31. 大塚恒子:精神科における看護の必要性を図るための評価方法を学ぶ. 日本精神科看護技術協会、京都、2010.2
- 32. 大塚恒子: 看護管理の基本、看護サービス論. 日本精神科看護技術協会中堅研修、京都、2010.2

#### 市民講座(心のコミュニティー)

- 1. 森川 晋: 「疲れってなんだろう 疲れの対処方法」 2009,5
- 2. 齋藤 澄子:「認知行動療法~自分でできるお気軽認知療法~」2009,7
- 3. 加藤 力敬:「神経症・パニック障害について」2009,9
- 4. 矢野 優子: 「軽度認知症 (MCI) について | 2009.11
- 5. 山端 千春:「認知症患者さんのためのリハビリテーション」2010.1
- 6. 吉元 謙太: 「認知症患者さんへの接し方」 2010,2

# 2010年

#### 論文

- 1. 三好功峰: DSM-V 改訂案における神経認知障害について。認知症という診断名は用いられなくなる? 仁明会精神医学研究 8.1-8.2011
- 2. 森村安史: 認知症におけるうつ状態。仁明会精神医学研究 8.9-12,2011
- 3. 江原 嵩、長岡研太郎:認知症における幻覚と妄想。仁明会精神医学研究8,13-22,2011
- 4. 加藤力敬:軽度認知障害 (MCI) における精神症状。仁明会精神医学研究 8,23-27,2011
- 5. 長岡研太郎:認知症における行動異常 (BPSD)。仁明会精神医学研究 8.28-33.2011
- 6. 植木昭紀、宇和典子、山本博一: 認知症の精神症状に対する薬物療法。仁明会精神医学研究 8,34-45,2011

- 7. 大塚恒子ほか:レビー小体型認知症の精神症状への看護。仁明会精神医学研究 8.46-50.2011
- 8. 三好功峰: 私と国際学会―国際神経精神医学会のこと。日本生物学的精神医学会・機関誌 新興医学社 (刊行予定)
- 9. 三好功峰: 思い出に残る私の論文。緊張病にともなう重篤な身体症状。最新精神医学 16 巻、 2011 (刊行予定)
- 10. 江原 嵩、長岡研太郎、近藤典子:レビー小体認知症にみられた焦燥的徘徊。臨床精神医学 39(1):85-92,2010
- 11. 江原 嵩: 認知症患者を取り巻く現状。疾患の理解を深めるための分類。精神科看護 37 (5): 6-11.2010

## 著書

- Miyoshi K, Morimura Y. Clinical Manifestation of Neuropsychiatric Disorders. In: Neuropsychiatric Disorders (eds. Miyoshi K, Morimura Y, Maeda Y). pp. 3-15, Springer Verlag. Tokyo, Dordrecht, Heidelberg, London, New York. 2010
- 2. Miyoshi K: Brief History and Current Status of the International Neuropsychiatric Association. In: Neuropsychiatric Disorders (eds.Miyoshi K, Morimura Y, Maeda Y). pp.301-315. Springer Verlag. Tokyo, Dordrecht, Heidelberg, London, New York. 2010
- 3. 三好功峰: 認知症とはなにか。よくわかって役に立つ認知症のすべて(第3版)。永井書店(出版予定)
- 4. 三好功峰:「ウイルソン病」、「ウエルニッケ脳症」、「コルサコフ症候群」、「コルサコフ精神病」、 「肝脳疾患」、「神経精神医学」、「村上 仁」。現代精神医学事典、弘文堂 2011 (出版予定)
- 5. 三好功峰:神経学と精神医学、専門医のための精神科・臨床リュミエール 30 巻 精神医学の 思想、中山書店(出版予定)
- 6. 大塚恒子: その領域の動向がわかる・精神科看護 INDEX・看護部長編 経営管理、精神看護 13 (6)、106-107, 2010
- 7. 大塚恒子: その領域の動向がわかる・精神科看護 INDEX. 看護部長編 人的資源管理、精神 看護 14 (1)、108-109, 2011
- 8. 大塚恒子: その領域の動向がわかる・精神科看護 INDEX. 看護部長編マネジメントとリーダーシップ、精神看護 15 (2)、110-111, 2011
- 9. 大塚恒子, 南 敦司, 矢野優子, 甲斐麻里:レビー小体型認知症の精神症状へのケア、仁明会精神医学研究、第8巻、2011
- 10. 矢野優子:必携!精神看護学実習ポケットブック、精神看護出版、144-147 および 152-155、 2010

## 学会活動

1. Miyoshi K, Morimura Y: Clinical Manifestations of Neuropsychiatric Disorders. The Regional Congress of Neuropsychiatry. June 18-19,2010 (Lima, Peru)

- 2. Miyoshi K: Characteristics of Clinical Manifestations of Neuropsychiatric Disorders. Dual Congress on Psychiatry and Neurosciences. November 18-21, 2010 (Thessaloniki, Greece)
- 3. Miyoshi K: Clinical Manifestations of Neuropsychiatric Disorders. China Neuropsychiatry Summit. September 18-19, 2010. Qingdao (青島) ,China
- 三好功峰: 大脳疾患の精神医学。第30回日本精神科診断学会・教育講演、11.11-12, 2010. (福岡)
- 5. 辻 香織、山口百香、矢野優子、甲斐麻里、大塚恒子:難治病棟における退院促進の手法~退院患者の背景と受け持ち看護師への聞き取り調査より~。日本精神科看護技術協会、日本精神科看護学会第34回大分大会、東京、2010,5
- 6. ゾバブリッシュ・クリステン・アン・アユミ、東 さやか、松尾結紀、大塚恒子: 認知症末期 における咀嚼訓練導入とその効果、第52回全日本病院学会 in 兵庫、神戸、2010, 10
- 7. 井上春香、赤羽真一、西山忠博: 患者の内服薬自己管理判定ツールの作成。日本精神科看護技 術協会兵庫県支部研究発表会、神戸、2010, 12

#### 学会記録

 Miyoshi K: Characteristics of Clinical Manifestations of Neuropsychiatric Disorders. In: Medimond International Proceedings of the 4<sup>th</sup> Dual Congress on Psychiatry and Neurosciences. November 18-21,2010. Thessaloniki, Greece (in press).

## 講演

- 1. 山本博一:西宮市の救急医療線―現状と課題 精神科領域の救急医療、第20回西宮市医師会 病診連携懇談会 2010.9.2 ノボテル甲子園
- 2. 山本博一:精神科病院における役割と今後の展開。病診連携の会 2010.9.4 ホテル竹園
- 3. 山本博一:精神障害の理解。西宮市保健所ボランティア講座 2010.11.8 西宮市保健所
- 4. 山本博一:精神障害の理解。西宮市保健所訪問看護、ヘルパー合同研修会 2011.3.15 西宮市 保健所 (予定)
- 5. 江原 嵩:精神科治療と向精神薬開発の歴史。日本精神科看護技術協会。精神科薬物療法研修会 I. 京都市、2010.6,14
- 6. 江原 嵩:老年期精神障害の病態と理解。日本精神科看護技術協会。老年期精神障害看護 I. 東京都。2010.6.28
- 7. 江原 嵩:精神科における薬物療法。日本精神科看護技術協会兵庫県支部。神戸市。2010.6.26
- 8. 江原 嵩:認知症の理解と看護。日本精神科看護技術協会兵庫県支部。神戸市。2010.7.3.
- 9. 江原 嵩:老年期精神障害看護。日本精神科看護学会。下関。2010.11.28
- 10. 大塚恒子: 診療報酬改定を踏まえた精神科看護者の役割、日本精神科看護技術協会兵庫県支部、2010. 4
- 11. 大塚恒子: 倉吉病院研修会·看護管理、鳥取、2010, 4
- 12. 大塚恒子:精神科病院に必要なリスクマネジメント、日本精神科看護技術協会東京支部、2010. 4
- 13. 大塚恒子: 倉吉病院研修会·経営管理、鳥取、2010, 5

- 14. 岩部政人:日本精神科看護学会会員企画セミナー. 急性期病棟開設の役割を担うことから新たな組織編成に挑んだ結果、東京、2010, 5
- 15. 岩部政人:精神看護方法論 急性期病棟における看護、甲南女子大学、2010,5
- 16. 大塚恒子: 実習前オリエンテーション、明和看護専門学校、2010. 5
- 17. 大塚恒子:成熟看護学援助論(精神)、園田学園女子大学、2010. 7
- 18. 大塚恒子: 老年期精神障害看護 Ⅰ、日本精神科看護技術協会、東京、2010, 6
- 19. 大塚恒子:精神科身体合併症Ⅰ、日本精神科看護技術協会、東京、2010. 7
- 20. 大塚恒子: 看護サービス論 看護管理者の役割と業務/精神科看護と接遇、日本精神科看護 技術協会福岡県支部、2010. 7
- 21. 南 敦司:認知症ケア、日本精神科看護技術協会兵庫県支部、2010,7
- 22. 南 敦司: 老年期精神障害看護 I、日本精神科看護技術協会、東京、2010. 7
- 23. 大塚恒子: 看護部長のための輝く組織づくり研修会、日本精神科看護技術協会、京都、2010. 7
- 24. 大塚恒子:管理者に必要な基本的スキル、日本精神科看護技術協会兵庫県支部、2010, 8
- 25. 大塚恒子:頼りになる中堅研修会、日本精神科看護技術協会、京都、2010. 8
- 26. 大塚恒子: 認定看護教育課程研修会・認知症患者の環境作り、兵庫県看護協会、神戸、2010. 8
- 27. 大塚恒子:大村病院院内研修会・行動制限、三木市、2010. 9
- 28. 大塚恒子: 認知症の理解と対応、民間病院協会看護部長会西阪神支部、西宮、2010. 9
- 29. 大塚恒子: 老年期精神障害看護 Ⅱ、本精神科看護技術協会、東京、2010. 10
- 30. 南 敦司:老年期精神障害看護Ⅱ、本精神科看護技術協会、東京、2010, 10
- 31. 大塚恒子:精神科看護管理者のモチベーションと人材育成、日本精神科看護技術協会広島県 支部、2010, 10
- 32. 南 敦司:日本精神科看護学会専門学会Ⅱ・アクティビティーケアについて、山口、2010, 10
- 33. 大塚恒子:精神科病院に求められる看護管理、日本精神科病院協会熊本支部、2010. 11
- 34. 大塚恒子:看護管理者研修会、日本精神科看護技術協会秋田県支部、2010. 11
- 35. 大塚恒子:リーダー&中堅研修、日本精神科看護技術協会岡山県支部、2010. 11
- 36. 大塚恒子:精神科看護研修会Ⅱリーダーシップ、日本精神科看護技術協会大阪支部、2010. 11
- 37. 大塚恒子:元気な病棟にする主任・師長のための研修会、日本精神科看護技術協会、京都、 2010, 11
- 38. 大塚恒子: 第38回精神医学会・医療事故の組織的予防策とその後の初期対応~転倒・自殺・ 誤嚥、日本精神科病院協会、富山、2010, 11
- 39. 大塚恒子:リスクマネジメントの基礎知識、日本精神科看護技術協会兵庫県支部、2010. 12
- 40. 南 敦司:身体合併症を持つ精神障害者への看護、日本看護協会神戸研修センター、2010. 12
- 41. 大塚恒子: チーム力を発揮する多職種研修 認知症編、日本精神科看護技術協会、東京、 2010. 12
- 42. 大塚恒子: 第6回看護管理者講習会・精神科病院への再就労支援、日本精神科病院協会、東京、 2011. 2

# 市民講座(心のコミュニティー)

- 1. 山下浩一: 「うつの方への対応方法」 ~声のかけ方、かかわり方~ 2010, 5
- 2. 松尾結紀:「認知症の方の健康管理について」~起こしやすい病気と予防方法~2010,7
- 3. 大塚恒子: 「認知症患者の理解と対応」2010, 12
- 4. 大塚恒子:「うつの理解と対応」2011, 1
- 5. 大塚恒子: 「ストレスについて」 2011, 2